

# JFA 第43回全日本U-12サッカー選手権大会 京都府大会

## 大 会 実 施 要 項

### ◇大会共通実施要項について

各大会共通実施要項については、各団に配布済みのハンドブック記載のとおりとする。  
熟読し、確認しておくこと。

◆重要事項については、ほとんどこの大会共通実施要項に記載。

### ◇今大会実施要項細目

①今大会の登録エントリー選手は8名以上、16名までとする。選手の交代については、交代ゾーン内でインプレー中、アウトオブプレー中に関わらずに行なう事ができる。（GKの交代に関してはアウトオブプレーの際に主審の許可を得て行なう。）登録エントリー内でメンバー表記載の交代要員で交代できることとする。交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。

②トーナメント方式とし、試合時間は20分ー5分ー20分とする。勝敗が決しない場合は、3名によるPK方式により次戦出場チームを決める。ただし、決勝戦のみ5分ー5分の延長戦を行い、なお勝敗が決しない場合は3名によるPK方式により優勝チームを決める。

③優勝チームは、京都府代表として決勝大会への出場権を得る。決勝大会への参加チームおよび選手は、府大会で優勝したチーム・選手でなければならない。

④ピッチサイズについては、1回戦から決勝戦まで68m×50mとするが、試合会場により上記のピッチサイズをとれない場合はできるだけ近いサイズで行うこととする。ペナルティエリアは12m、ゴールエリアは4mとする。また、センターサークルは7m、ペナルティスポットは8mとする。ゴールは少年用ゴールを使用する。自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける。（ハーフウェーラインを挟んで3mずつ。）

⑤シードチームは、『セレマカップ第52回京都少年サッカー選手権大会 JFA U-12サッカーリーグ 京都 前期1部』のベスト4とする。

シード 長岡京SS G・加茂 A・葵 R・醍醐 A

⑥試合を8人制で行ない、審判は2人制（主審、予備審）で行なう。審判割り当てについては、ハンドブック記載の通りとする。なお、5回戦（準々決勝）から決勝戦は全て審判委員会にて行う予定。

審判証を本部に提示すること。（電子審判証またはそれを印刷したもの）

また、予備審は各チームに試合結果の確認を行い、予備審用の審判カードに署名を得ること。

※ ⑦登録選手一覧の携帯を義務付ける。なお、1回戦より登録選手一覧の提示を求めるので、忘れないようにすること。  
メンバー表と同様、試合開始の30分前までに本部に提出し、指示を受けてチェックを受けること。

⑧競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは競技者を補充することができる。この規定は、PK方式でも適用する。警告、退場に關わる運用がハンドブックの22ページに明記してあるので確認しておくこと。  
なお、以下の人員にて今大会の規律委員会を構成する。

〔 平田研一・片岡弥之・大坪信彦・前田健・伊澤昭典・安藤寿崇・吉川誠一朗 〕

⑨ユニフォームへの広告表示を認める。

⑩キックオフから直接相手ゴールに入った場合は得点を認めずに相手のゴールキックから再開する。

⑪その他諸注意

★落雷など危険の恐れがある場合は大会本部、主審の判断で中断することがあります。

速やかに安全な場所で待機すること。

★試合中における不慮の災害及び事故の発生に関しては、個人の負担とする。

★各チームは、会場の駐車事情を考慮し、できる限り台数を少なくして来場すること。

★各会場とも、ゴミは各チームで必ず持ち帰ること。

★会場設営・審判等、試合がスムーズに進行するよう協力すること。